

【2024 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人間学	HLA11-015	選択	1	1.2	前期 (後半)
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
山本 泰宏 他	C304	yaushiro_yamamoto		水曜 9:00~14:30	
授業の目的・概要	医療福祉の世界では「人間が人間としてふさわしくない状態になったとき、再び人間としてふさわしい状態に戻る」ことを理念としている。医療福祉に限らず、我々が社会の中で生活していくうえで、「人間としてふさわしい状態」とは何か考え、それを医療・福祉の現場に応用できる基礎的知識と考え方を身に付けることを目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	正解がない問を考える授業であるので、間違いを恐れずに積極的に発言することが自身の成長につながる。教科書を指定しないので予習は不要。よく復習すること。				
教科書	教科書は指定しない。				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
外部教材	使用しない。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人間と他の動物の違いを説明できる。			HSU(1)、(2)、(3)	
②	人間がほかの動物と比較して高度な文化を持つ理由を説明できる。			HSU(1)、(2)、(3)	
③	高度な文化を持った人間が、人間をどのようにとらえたかその変遷を説明できる。			HSU(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)	
④	人権について説明できる。				
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	[オリエンテーション] 大学の授業について理解する。 [人間とは] 人間と他の動物の違いについて考える。	[担当] 山本	講義	高校と大学の学習目的と学習方法の違いを復習する。 人間と動物の違いを復習する。	4
2	[人間の進化 1] 人間の身体の進化過程について学ぶ。	[担当] 山本	講義	人間が直立 2 足歩行を始めるまでの進化の過程を復習する。	4
3	[人間の進化 2] 人間の精神の進化について学ぶ。	[担当] 山本	講義	直立 2 足歩行を始めた人間が農業を始めるまでの進化の過程を復習する。	4
4	[人間観の変遷] 人間が人間自身をどのようにとらえてきたか、その時代背景とともに学ぶ。	[担当] 松崎	講義	時代背景と人間観の関係を復習する。	4
5	[人権] 人権とは何か学ぶ。	[担当] 桑原	講義	人権について、法学の教科書等を参考にして復習する。	4
6	[現代の人間] 現代社会ではどのような人間観が形成されているか学ぶ。	[担当] 松崎	講義	現代の人間観と、自分の身の回りの出来事を対比して、関連を考える。	4
7	[人間と医療・福祉] これまでに学んだ内容を総合して、医療福祉の世界ではどのような行動が必要か考える。	[担当] 山本	講義	これまでに学んだ知識や考え方が医療・福祉の世界でどのように応用されているのか復習する。	4
8	[まとめ] 第 1 回から第 7 回の授業で学んだ内容を総合して「未来の人間観」について考える。	[担当] 山本	講義	未来の人間観についてどのような意見が出たか整理する。	4
試	レポート				

【2024 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	100	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	70	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	基礎演習 I で学習したレポートの書き方を実践する。基礎演習で学習したレポート作成の知識・技術力を評価割合 70%とする。 詳細は授業中に説明する。			レポートを返却する	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	松崎 昇、桑原 修						
教員の実務経験	医師として 38 年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	第 6 回授業では学生の意見をまとめる参考として、担当教員の医療・福祉現場での経験を適宜説明する。						
そ の 他	質問等で研究室を訪れる際にはオフィスアワー内であっても事前にチャットで在室を確認してください。						